

みよし市	所属議員	渡邊郁夫、高木和彦
-------------	------	-----------

産業目線

【活動選定項目】	①カーボンニュートラル(CN)への対応											
具体的取り組み項目	①CNの技術革新を進める中小企業や産業転換する企業への支援策の構築 ②住宅・建築物等のエコエネルギー促進事業の補助メニューを増やし、市民、企業の参加を強化 ③公共施設への充電インフラの整備 ④ソーラ発電等再生可能エネルギーの活用											
前回まで 活動状況	＊政策要望など過去の取組みにおいて実施されてきた事項の確認 ＊課題、問題意識の洗い出し ①市内中小企業において、CN対応推進する上での支援策が必要 ②市民、企業へのCN推進の理解と協力参加がしやすい体制づくり ③PHV、電気自動車の普及促進を図るためのインフラ整備の強化 ④グリーンエネルギーの活用の強化											
今回 具体的活動	①市内中小企業において、CN対応推進する上での支援策が必要 ②市民、企業へのCN推進の理解と協力参加がしやすい体制づくり ・みよし市の部門別CO2排出量調査（環境課） 平成30年度の排出量は、産業部門698千t、業務その他部門73千t、家庭部門64千t、運輸部門107千t、廃棄物分野（一般廃棄物）9千tの合計951千t。 《課題・問題点》 1. みよし市全体からの温室効果ガスCO2排出量合計は95万1千トンで、産業部門での排出量が69万8千トンで全体の73%を占めていることから、市内製造業へのカーボンニュートラルに向けた取組みの理解活動をしっかり行うとともに支援を進める必要がある。 2. 「家庭部門」からの更なる排出削減を進めるために、広報やイベント等での省エネルギー行動に関する意識啓発やエコエネルギー促進事業の補助対象メニューを増やし、市民が関心を持ち参加しやすい施策への改善が必要である。	<p style="text-align: center;">みよし市CO2排出量 平成30年</p> <table border="1"> <tr><td>産業部門</td><td>73%</td></tr> <tr><td>業務その他部門</td><td>8%</td></tr> <tr><td>家庭部門</td><td>11.1%</td></tr> <tr><td>運輸部門</td><td>7%</td></tr> <tr><td>廃棄物分野（一般廃棄物）</td><td>1%</td></tr> </table>	産業部門	73%	業務その他部門	8%	家庭部門	11.1%	運輸部門	7%	廃棄物分野（一般廃棄物）	1%
産業部門	73%											
業務その他部門	8%											
家庭部門	11.1%											
運輸部門	7%											
廃棄物分野（一般廃棄物）	1%											
今後の活動	③PHV、電気自動車の普及促進を図るためのインフラ整備の強化 ④グリーンエネルギーの活用の強化 現状の把握（調査）											